

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-118633  
(P2002-118633A)

(43) 公開日 平成14年4月19日 (2002.4.19)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
H 0 4 M 1/02		H 0 4 M 1/02	C 5 K 0 1 1 A 5 K 0 2 3 H 5 K 0 6 7
H 0 4 B 1/38		H 0 4 B 1/38	V
H 0 4 Q 7/32		7/26	
審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 8 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-307774(P2000-307774)

(22) 出願日 平成12年10月6日(2000.10.6)

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 西堀 貴久

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100088328

弁理士 金田 暢之 (外2名)

Fターム(参考) 5K011 AA04 JA01 KA12

5K023 AA07 BB02 BB11 DD06 DD08

EE02 EE12 GG06 GG09 GG15

HH07 LL06

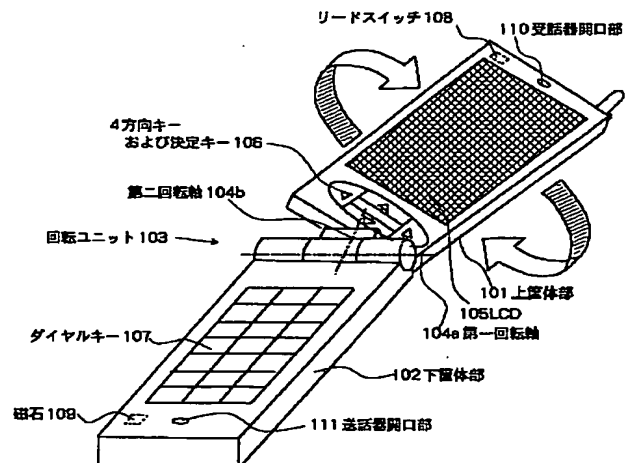
5K067 AA34 BB04 FF23 KK05 KK17

(54) 【発明の名称】 折り畳み式携帯電話機

(57) 【要約】

【課題】 受信待機時に筐体を折り畳んだ状態においても画像表示部を確認可能にすることができ、かつ従来の携帯電話と同様に折り畳むことができる構造をもった折り畳み式携帯電話機を提供する。

【解決手段】 上筐体部101と下筐体部102とを折り畳み可能に接続する回転ユニットは、両筐体部を折り畳む際に使用する第一の回転軸104aと、第一の回転軸104aに直交して設けられた第二の回転軸104bとを備え、第二の回転軸104bを中心として上筐体部101が180度以上回転可能であり、両筐体部を開いて使用した状態から上筐体部101を反転させて折り畳むと画像表示部が折り畳まれた上筐体部101の表面に視認可能に位置し、両筐体部を開いて使用した状態からそのまま上筐体部101を折り畳むと画像表示部が折り畳まれた上筐体部101の内側に位置するように配設されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像表示部を有する上筐体部と操作面を有する下筐体部とが折り畳み可能に回転ユニットで接続されている携帯電話機であって、

前記回転ユニットは、前記上筐体部と前記下筐体部とを折り畳む際に使用する第一の回転軸と、さらに該第一の回転軸に直交して設けられた第二の回転軸とを備え、該第二の回転軸を中心として前記上筐体部が180度以上回転可能であり、前記上筐体部と前記下筐体部とを開いて使用した状態から該上筐体部を前記第二の回転軸を中心として反転させて折り畳むと該上筐体部の前記画像表示部が折り畳まれた該上筐体部の表面に視認可能に位置し、前記上筐体部と前記下筐体部とを開いて使用した状態からそのまま該上筐体部を折り畳むと該上筐体部の前記画像表示部が折り畳まれた該上筐体部の内側に位置するように配設されている、ことを特徴とする折り畳み式携帯電話機。

【請求項2】 前記折り畳み式携帯電話機の前記上筐体部の前記画像表示部の配置された面に少なくとも4方向キーおよび決定キーが設けられている、請求項1に記載の折り畳み式携帯電話機。

【請求項3】 前記折り畳み式携帯電話機の前記上筐体部の前記画像表示部の配置された面とその反対面との双方にそれぞれ受話器が設置されている、請求項1または請求項2に記載の折り畳み式携帯電話機。

【請求項4】 前記下筐体部の操作面の内部に磁石が配置され、前記上筐体部の画像表示部を有する面の折り畳み時に該磁石と対応する位置に、折り畳み時に該磁石に感応して電源を制御するリードスイッチが設けられている、請求項1から請求項3の何れか1項に記載の折り畳み式携帯電話機。

【請求項5】 画像表示部を有する上筐体部と操作面を有する下筐体部とが折り畳み可能に回転ユニットで接続されている携帯電話機であって、

前記回転ユニットは、前記下筐体部の一端の端面に該端面に平行方向に保持された第一の回転軸と、前記上筐体部の一端の端面に該端面に平行方向に保持された第二の回転軸と、前記第一の回転軸と前記第二の回転軸とを連結して該第二の回転軸が前記第一の回転軸を中心として旋回可能に保持し、旋回の一方の極限点では前記下筐体部の操作面と前記上筐体部の画像表示部を有する面とが当り、旋回の他方の極限点では前記下筐体部の操作面と反対の面と前記上筐体部の画像表示部を有する面と反対の面とが当りするように配設された連結回転体と、を備えたことを特徴とする折り畳み式携帯電話機。

【請求項6】 前記上筐体部の内部に磁石が配置され、前記下筐体部の操作面とその反対の面の折り畳み時に該磁石と対応するそれぞれの位置に、折り畳み時に該磁石に感応して電源を制御するリードスイッチが設けられている、請求項5に記載の折り畳み式携帯電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は折り畳み式携帯電話機に関し、特に折り畳み状態でも画像表示部の視認と操作の可能な折り畳み式携帯電話機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 近年携帯電話は、電子メールやゲーム機能やネット対応端末として多種多様な機能を搭載するようになり携帯電話の活用範囲が拡大している。携帯電話機により電子メールを利用するユーザが増加し、「iモード」に代表されるようにネット対応端末が普及して携帯電話用サイトにより情報サービスを活用するユーザが増え、また携帯電話機を使ってゲームをするユーザーなどが増えてきている。さらに、画像表示部がカラー化されたり、大画面化されたりなどの様々な形態の携帯電話が出現しており、画像表示部のカラー化に伴い受信待機時の画面上に好みのイラスト、画像、アニメーションなどを表示するユーザが増えている。

【0003】 従来の折り畳み式携帯電話機は、画面の大型化に対して画像表示部とキー入力部に分割して折り畳むことにより、ストレートタイプの携帯電話に比べて小型にした携帯電話機であり、携帯性に優れた形態となっている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 この折り畳み式携帯電話機は、受信待機時に折り畳むことによりLCD表示部やダイヤルキーの保護および誤動作防止、LCDの電源を切ることによる低消費電力化などの利点がある。しかしながら、折り畳んだ状態において画像表示を見ることができないという欠点があった。このため、受信待機時に折り畳んでいる間はメール着信の有無、不在着信の有無、留守番伝言の有無の確認、着信時に相手の名前および電話番号の確認等の情報は、筐体を開いてこの画像表示部を確認しなければならなかった。

【0005】 また、最近折り畳んだ状態でメール着信の有無、不在着信の有無、留守番伝言の有無の確認、着信時に相手の名前および電話番号の確認等ができるように通常画像表示部の反対側に小型LCDを増設した折り畳み式携帯電話機が出ているが、増設した小型LCDとそれを制御する回路とが増えるためコストが掛かり、また増設した小型LCDではメールの内容確認、携帯電話用サイトの閲覧、ゲーム等ができないという欠点がある。

【0006】 本発明の主な目的は受信待機時に筐体を折り畳んだ状態においても画像表示部を確認可能にすることができ、かつ従来の携帯電話と同様に折り畳むこともできる構造をもった折り畳み式携帯電話機を提供することにある。さらに、画像表示部と同じ面に配置された4方向キーおよび決定キーなどの最低限必要な操作部のみにより、スペースを取らずにメールの内容確認、携帯電話用サイトの閲覧、ゲーム等を容易に操作することが可

能な折り畳み式携帯電話機を提供する。

#### 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の折畳式携帯電話機は、画像表示部を有する上筐体部と操作面を有する下筐体部とが折り畳み可能に回転ユニットで接続されている携帯電話機であって、回転ユニットは、上筐体部と下筐体部とを折り畳む際に使用する第一の回転軸と、さらにその第一の回転軸に直交して設けられた第二の回転軸とを備え、その第二の回転軸を中心として上筐体部が180度以上回転可能であり、上筐体部と下筐体部とを開いて使用した状態からその上筐体部を第二の回転軸を中心として反転させて折り畳むとその上筐体部の画像表示部が折り畳まれたその上筐体部の表面に視認可能に位置し、上筐体部と下筐体部とを開いて使用した状態からそのままその上筐体部を折り畳むとその上筐体部の画像表示部が折り畳まれたその上筐体部の内側に位置するように配設されている。

【0008】また、折り畳み式携帯電話機の上筐体部の画像表示部の配置された面に少なくとも4方向キーおよび決定キーが設けられていてもよく、上筐体部の画像表示部の配置された面とその反対面との双方にそれぞれ受話器が設置されていてもよく、下筐体部の操作面の内部に磁石が配置され、上筐体部の画像表示部を有する面の折り畳み時にその磁石と対応する位置に、折り畳み時にその磁石に感応して電源を制御するリードスイッチが設けられていてもよい。

【0009】他の態様では、画像表示部を有する上筐体部と操作面を有する下筐体部とが折り畳み可能に回転ユニットで接続されている携帯電話機であって、回転ユニットは、下筐体部の一端の端面にその端面に平行方向に保持された第一の回転軸と、上筐体部の一端の端面にその端面に平行方向に保持された第二の回転軸と、第一の回転軸と第二の回転軸とを連結してその第二の回転軸が第一の回転軸を中心として旋回可能に保持し、旋回の一方の極限点では下筐体部の操作面と上筐体部の画像表示部を有する面とが当り、旋回の他方の極限点では下筐体部の操作面と反対の面と上筐体部の画像表示部を有する面と反対の面とが当り、当りするように配設された連結回転部とを備えている。

【0010】また、上筐体部の内部に磁石が配置され、下筐体部の操作面とその反対の面の折り畳み時にその磁石と対応するそれぞれの位置に、折り畳み時にその磁石に感応して電源を制御するリードスイッチが設けられていてもよい。、上筐体部を反転させて折り畳むことができるので、受信待機時に筐体を折り畳んだ状態においても画像表示部を視認可能にすることができ、かつ従来の携帯電話と同様に折り畳むことができる。さらに、携帯電話用サイトの閲覧は4方向キーおよび決定キーなどで簡単に操作することができることから、本発明の折り畳み式携帯電話機では、折り畳んだ状態において画像表示

部と4方向キーおよび決定キーなどの最低限必要な操作部のみを使用面に配置されているので、スペースを取らずにメールの内容確認、携帯電話用サイトの閲覧、ゲーム等を容易に操作することができる。

#### 【0011】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を通话可能に開いた状態を示す模式的斜視図であり、図2は本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機の上筐体部を第二回転軸を中心として回転させる状態を示す模式的斜視図であり、図3は本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を上筐体部を第二回転軸を中心として180度回転させて画像表示部を外側に向けて第一回転軸を中心として下筐体部上に閉じる状態を示す模式的斜視図であり、図4は本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機の画像表示部を外側に向けて下筐体部上に折り畳んだ状態を示す模式的斜視図であり、図5は回転ユニット内の配線接続構造を示す模式的部分平面図である。

【0012】図1に示すように、上筐体部101と下筐体部102とを折り畳む際に使用する従来の折り畳み式携帯電話機と同様の第一回転軸104aに、さらにこの第一回転軸104aに直交する第二回転軸104bを設けることにより上筐体部101を180度回転させて画像表示部を反転させ、受信待機時に筐体を折り畳んだ状態においても画像表示部を視認可能にすることができ、かつ従来の携帯電話機と同様に画像表示部を出さずに内側に折り畳むこともできる構造としたことを特徴としている。

【0013】図1に示すように、本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機は、上筐体部101および下筐体部102からなり、上筐体部101の端部と下筐体部102の端部とは回転ユニット103により開閉可能に接続されている。上筐体部101の片方の面には画像を表示するLCD105と4方向キーおよび決定キー106と、上端部の内部に埋設されたリードスイッチ108と、受話器開口部110を備え、下筐体部102の片方の面にはダイヤルキー107と、下端部の内部に埋設された磁石109と、送話器開口部111とを備えており、上筐体部101の画像表示部を内側にして折り畳んだ際にリードスイッチ108は磁石109の磁力に感応する位置に設置されている。

【0014】上筐体部101と下筐体部102との接続に用いられる回転ユニット103は、第一回転軸104aと第一回転軸104aに直交する第二回転軸104bとによって直交する2方向に上筐体部101を回転させる構造を有する。上筐体部101と下筐体部102との電気的な接続は、第一回転軸104aを中心にして上筐体部101と下筐体部102とを折り畳む回転構造の部分では、従来の折り畳み式携帯電話機と同様に図5に示

## 5

すようにフレキシブルケーブル 122 を用いて下筐体部 102 の円筒内部を通し、下筐体部内の中継基板 125 に接続することにより、折り畳み動作を可能にしている。第二回転軸 104b を中心にして上筐体部 101 の画像表示部を 360 度回転させる構造の部分では、図 5 に示すように回転ユニット 103 の第二回転軸上に固定された円筒部 126 の周りに環状に配置された導電部 127 から円筒部 126 の内部配線により中継基板 125 を介してフレキシブルケーブル 122 により下筐体部内の基板に接続するように構成されており、上筐体部側では導電部 127 と接触する弾性接触部 123 から中継基板 124 を介して上筐体部内の LCD 105 や 4 方向キーおよび決定キー 106 等に接続するように構成されている。

【0015】次に本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機の動作について図面を参照して説明する。本発明の折り畳み式携帯電話機は、図 1 の上筐体部 101 と下筐体部 102 とを通話状態に開いた状態から、図 2 のように上筐体部 101 は第二回転軸 104b を中心に 180 度回転させて画像表示部を外側に向け、図 3 のように上筐体部 101 の表示面側を外側にして第一回転軸 104a を中心に閉じることにより、図 4 のように閉じた状態において画像表示部の確認を可能にしている。

【0016】上筐体部 101 と下筐体部 102 との開閉検出は、図 1 の通話状態より上筐体部 101 の画像表示部を内側にしたまま第一回転軸 104a により折り畳んだ場合に、上筐体部 101 の上端部左側に設置されたリードスイッチ 108 が下筐体部 102 の下端部左側に設置された磁石 109 に接近すると、リードスイッチ 108 が磁力を検出してオン（開）状態になり画像表示部の電力供給を止める。また、図 1 の通話状態より図 2 のように上筐体部 101 を第二回転軸 104b を中心に 180 度回転させ、上筐体部 101 の表示面を外側にして折り畳んだ場合は、図 4 のようにリードスイッチ 108 が磁石 109 と反対側の位置になり折り畳んだ状態においてもオフ（開）状態になるため画像表示を継続する。

【0017】図 2 のように第二回転軸 104b を中心に上筐体側の画像表示部を反転させる場合、弾性接触部 123 の押圧によって回転ユニット 103 に固定された円筒部上の導電部 127 と弾性接触部 123 とが接触することにより、回転しても絶えず電気的接続を続けることができるため、上筐体部 101 を回転方向や回転回数の制限なしに 360 度自由に回転することを可能にしている。

【0018】この折り畳み式携帯電話機は、受信待機時に上筐体部 101 の画像表示部を外側に折り畳んだ状態にすることにより、そのままでメールの着信の有無、不在着信の有無、留守番伝言の有無の確認、着信時に相手の名前および電話番号の確認等を行うことができるという効果がある。また、受信待機時に上筐体部 101 の画

## 6

像表示部を内側に折り畳んだ状態にした場合には、従来の携帯電話機と同様に LCD 105 やダイヤルキー 107 の保護および誤動作防止、LCD 105 の電源を切ることによる低消費電力化という効果が得られ、状況に応じて上筐体部の折り畳み状態の選択が可能となっている。

【0019】さらに、上筐体部 101 の使用面に LCD 105 と 4 方向キーおよび決定キー 106 などの最低限必要な操作部のみを配置することにより、表示面を外側にして折り畳んだ状態において、スペースを取らずにメールの内容確認、携帯電話用サイトの閲覧、ゲーム等が容易に使用可能となる。

【0020】次に本発明の第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を図面を参照して説明する。図 6 は本発明の第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を通話可能に開いた状態を示す模式的斜視図であり、図 7 は本発明の第二の実施の形態の上筐体部の受話器開口部近傍の模式的断面図であり、図 8 は本発明の第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を受信待機時に画像表示部を外側にして折り畳んだ状態で受信した場合に上筐体部をそのまま開いた時の状態を示す模式的斜視図である。

【0021】第一の実施の形態では、図 4 のように受信待機時に画像表示部を外側にして折り畳んだ状態において受信した場合、通話可能とするためには図 3 のように第一回転軸 104a を中心に上筐体部 101 を開き、さらに図 2 のように第二回転軸 104b を中心に上筐体部 101 を 180 度反転させることが必要なので 2 回の回転動作が必要であり、受信時にすぐに通話できないという問題がある。このため、第二の実施の形態では図 6 に示すように、上筐体部 201 の画像表示部側の第一受話器開口部 210 と反対側の面にさらに第二受話器開口部 212 を追加し、それぞれに第一スピーカ 213 および第二スピーカ 214 を配置して、上筐体部 101 の画像表示部が内側を向いているか外側を向いているかを検出する検出手段を追加することにより、図 7 のように上筐体部 101 の受話器開口部の内部に設置された第一スピーカ 213 と第二スピーカ 214 とを切替える機能を有する。この画像表示部の向きを検出する手段としては、例えば図 5 の円筒部 126 の画像表示部側または非画像表示部側に半円状の導電部 127 を 1 本追加し、弾性接触部 123 を 1 本追加して通電するかしないかにより画像表示部の向きの判別を行う。

【0022】従って、第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話機では、図 4 のように受信待機時に画像表示部を外側にして折り畳んだ状態において受信した場合、図 8 のように第一回転軸 204a を中心に上筐体部 201 を開くだけで非画像表示部側に設置された第二受話器開口部 212 を用いて通話することができるため、受信時に第一の実施の形態と比べて早く通話可能にすることができる、さらに通話時に画像表示部が耳と反対の側になるの

で画像表示部と耳とを接触させないで通話できることとなりLCD表面の汚れを防止するという新たな効果も得ることができる。

【0023】次に本発明の第三の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を図面を参照して説明する。図9は本発明の第三の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を開いた使用状態から表示面を内側にして折り畳もうとしている状態を示す模式的斜視図であり、図10は、図9の折り畳み式携帯電話機の上筐体部を表示面を内側にして折り畳んだ状態と、開いて使用する状態と、上筐体部を表示面を外側にして下筐体部の裏側に折り畳んだ状態とにおける回転ユニットの動作を示す模式的側面図である。

【0024】本発明の第三の実施の形態の折り畳み式携帯電話は、図9および図10に示すように上筐体部301および下筐体部302からなり、同一方向に回転する第一回転軸304aと第二回転軸304bと連結回転体304cとを備えた回転ユニット303により上筐体部301の端部と下筐体部302の端部とが接続されて360度開閉できるように構成されている。回転ユニット303は、下筐体部302の一端の端面にその端面に平行方向に保持された第一回転軸304aと、上筐体部301の一端の端面にその端面に平行方向に保持された第二回転軸304bと、第一回転軸304aと第二回転軸304bとを連結して第二回転軸304bが第一回転軸304aを中心として旋回可能に保持し、旋回の一方向の極限点では下筐体部302の操作面と上筐体部301の画像表示部を有する面とが当り、旋回他方の極限点では下筐体部302の操作面と反対の面と上筐体部301の画像表示部を有する面と反対の面とが当り、このように配設された連結回転体304cとを備えている。

【0025】図9に示すように、上筐体部301の片方の面に画像を表示するLCD305と4方向キーおよび決定キー306と上端部の内部に埋設された磁石309と受話器開口部310とを備え、下筐体部302の片方の面にダイヤルキー307と下端部の内部に埋設された第一リードスイッチ308と送話器開口部311とを備え、さらに下筐体部302の反対側に第二リードスイッチ312を備えている。

【0026】上筐体部301の画像表示部をダイヤルキー側に折り畳んだ場合に第一リードスイッチ308は磁石309の磁力を受ける位置に設置されており、反対側に折り畳んだ場合には第二リードスイッチ312が磁石309の磁力を受ける位置に設置されている。このため、画像表示部をダイヤルキー307と反対側に折り畳んだ場合、第二リードスイッチ312により閉じたことを認識すると、ダイヤルキー307にロックを掛けて誤動作を防止する。

【0027】第三の実施の形態の開閉動作は図10に示すように、上筐体部301は受信待機時に画像表示部を内側にして折り畳んだ状態から回転動作Mの方向に力を

加えることにより第二回転軸304bを中心に回転させ、ストッパー313で止まるまで回転させて、上筐体部301と下筐体部302とをくの字型に開くことによって通話に最適な角度になる。さらに回転動作Nの方向に力を加えることにより第一回転軸304aを中心に第二回転軸304bを180度以上回転させ、さらに上筐体部301を第二回転軸304bを中心として回転させることにより画像表示部を外側にして折り畳むことができる。

【0028】従って、本実施の形態では、受信待機時に画像表示部を外側にして折り畳んだ状態において受信した場合、一方向への回転動作で通話可能状態にすることができるため、第一の実施の形態と比べて受信時に早く通話可能にすることができるという効果を得ることができる。

【0029】また、第一、第二、第三の実施の形態における応用として、開閉検出手段に用いたリードスイッチと磁石との組合せを、プッシュスイッチやスライドスイッチに置き替えて筐体側面部に設けることにより、開閉動作に関係無くLCDの電源ON/OFFを切替え可能にしてもよい。また、利便性を向上させるために画像表示部側に設けた4方向キーおよび決定キーの他に使用頻度の高いメール機能等へのショートカットボタンを配置してもよい。さらに、第一、第二の実施の形態において、第二回転軸104b、204aを中心に上筐体部101、201の画像表示部を360度自由に反転させる構造にすることにより、反転動作を1回行った後に次の反転動作をする場合、最初に反転した方向に回転することも逆方向に回転することも可能であるが、これを180度しか回転できないように動作を限定して、2回目の反転動作は最初に反転した方向の逆方向にしか回転できない構造にしてもよく、この場合図5に示した配線接続構造を用いないで上筐体部と下筐体部とをフレキシブルで直接接続することも可能となる。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように本発明の折り畳み式携帯電話機では、次のような効果が得られる。即ち、第一の効果は、受信待機状態で折り畳まれた状態にある時においても開閉動作を行わずに画面を見ることができ、画面上でメールの着信の有無、不在着信の有無、留守番伝言の有無の確認などを直ぐに確認できることである。これは表示面を外側にして折り畳み可能としたからである。

【0031】第二の効果は、折り畳んだ状態において容易にメールの内容確認、携帯電話用サイトの閲覧、ゲーム等がスペースを取らずに使用することができることである。これは最低限必要な操作部を使用面に配置したからである。

【0032】第三の効果は、折り畳んだ状態において、携帯電話用サイトの閲覧に必要な十分な4方向キーおよび

決定キーのみを用いて容易に操作することが可能になり、また、ゲームを行う際もダイヤルキーなどの不必要なキーが邪魔になることなく操作することができ、さらに操作に不必要なキー入力による誤動作を防止することができるため操作性が向上することである。これは画像表示部と方向キーのみを1つの側面上に配置したからである。

【0033】第四の効果は、折り畳んだ状態で着信した際に、開閉動作を介さず即座に相手の名前および電話番号を確認できるため、通話するかしないかの判断に時間を掛けずに判断でき、通話を拒否したい場合は開閉動作を省くことができることである。これも表示面を外側にして折り畳み可能としたからである。

【0034】第五の効果は、折り畳んだ状態においても画像を表示できることから、受信待機時の画面上に自分の好みのイラスト、画像、アニメーション等を表示して楽しむことができることである。これも表示面を外側にして折り畳み可能としたからである。

【0035】第六の効果は、電池寿命を延ばしたい場合は画像表示部を内側にしてLCDの電源を切ることと、折り畳んだ状態でも画像表示部を確認したい場合は外側にすることとを、ユーザの必要性に応じて選択できることである。これは受信待機時に上筐体の画像表示部を内側にして折り畳むことも、外側に折り畳むことも選択できるためである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を通話可能に開いた状態を示す模式的斜視図である。

【図2】本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機の上筐体部を第二回転軸を中心として回転させる状態を示す模式的斜視図である。

【図3】本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を上筐体部を第二回転軸を中心として180度回転させて画像表示部を外側に向けて第一回転軸を中心として下筐体部上に閉じる状態を示す模式的斜視図である。

【図4】本発明の第一の実施の形態の折り畳み式携帯電話機の画像表示部を外側に向けて下筐体部上に折り畳んだ状態を示す模式的斜視図である。

【図5】回転ユニット内の配線接続構造を示す模式的部平面図である。

【図6】本発明の第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話

機を通話可能に開いた状態を示す模式的斜視図である。

【図7】本発明の第二の実施の形態の上筐体部の受話器開口部近傍の模式的断面図である。

【図8】本発明の第二の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を受信待機時に画像表示部を外側にして折り畳んだ状態で受信した場合に上筐体部をそのまま開いた時の状態を示す模式的斜視図である。

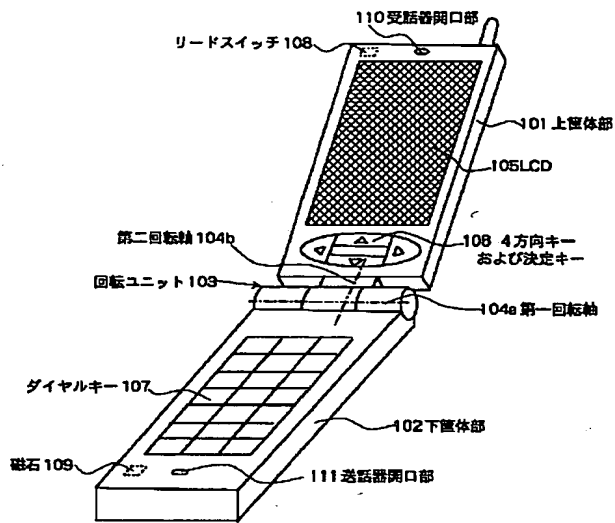
【図9】本発明の第三の実施の形態の折り畳み式携帯電話機を開いた使用状態から表示面を内側にして折り畳もうとしている状態を示す模式的斜視図であり、

【図10】図9の折り畳み式携帯電話機の上筐体部を表示面を内側にして折り畳んだ状態と、開いて使用する状態と、上筐体部を表示面を外側にして下筐体部の裏側に折り畳んだ状態とにおける回転ユニットの動作を示す模式的側面図である。

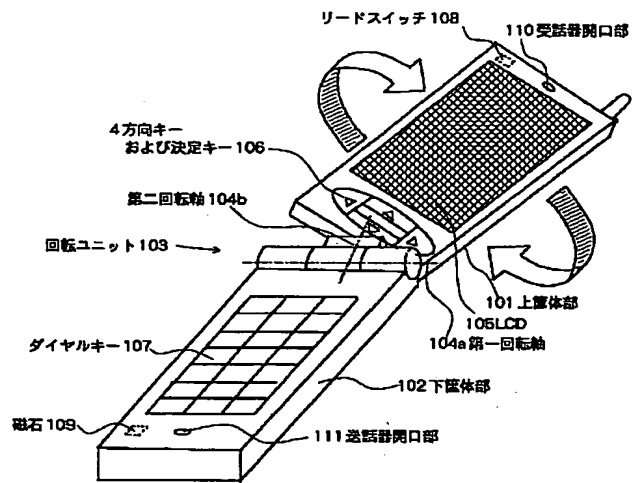
#### 【符号の説明】

101、201、301	上筐体部
102、202、302	下筐体部
103、203、303	回転ユニット
104a、204a、304a	第一回転軸
104b、204b、304b	第二回転軸
105、205、305	LCD
106、206、306	4方向キーおよび確定キー
107、207、307	ダイヤルキー
108、208	リードスイッチ
109、209、309	磁石
110、310	受話器開口部
111、211、311	送話器開口部
122	フレキシブルケーブル
123	弾性接触部
124、125	中継基板
126	円筒部
127	導電部
210	第一受話器開口部
212	第二受話器開口部
213	第一スピーカ
214	第二スピーカ
304c	連結アーム
308	第一リードスイッチ
312	第二リードスイッチ
313	ストッパー

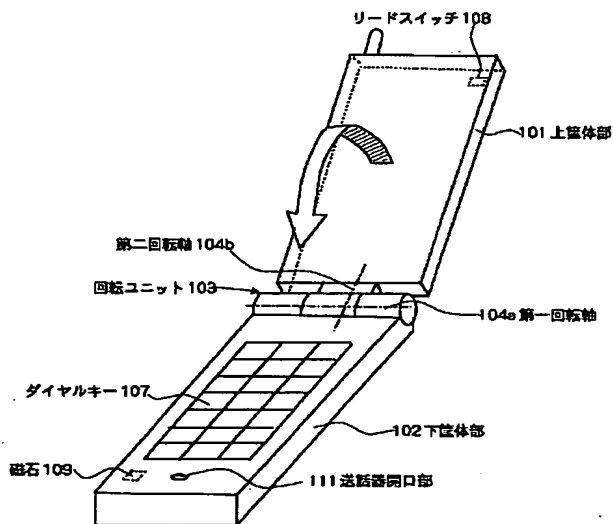
【図1】



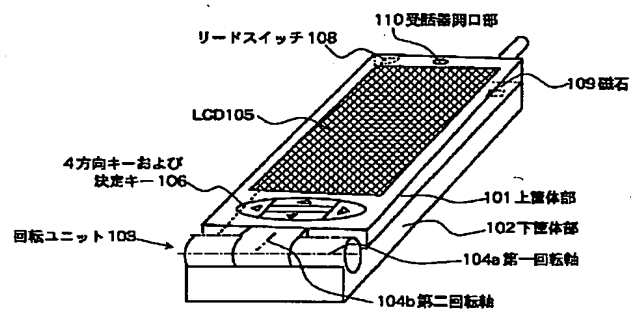
【図2】



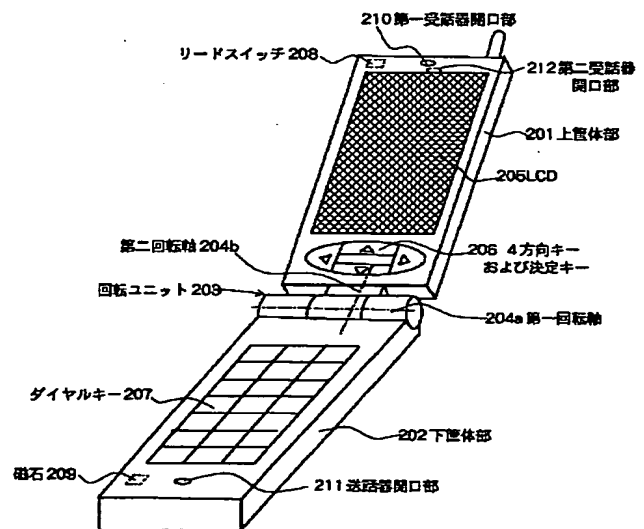
【図3】



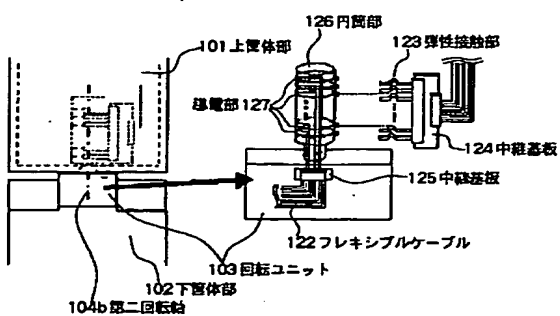
【図4】



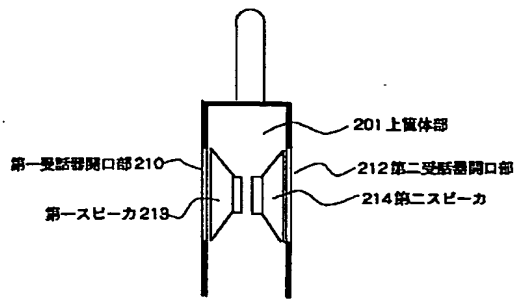
【図6】



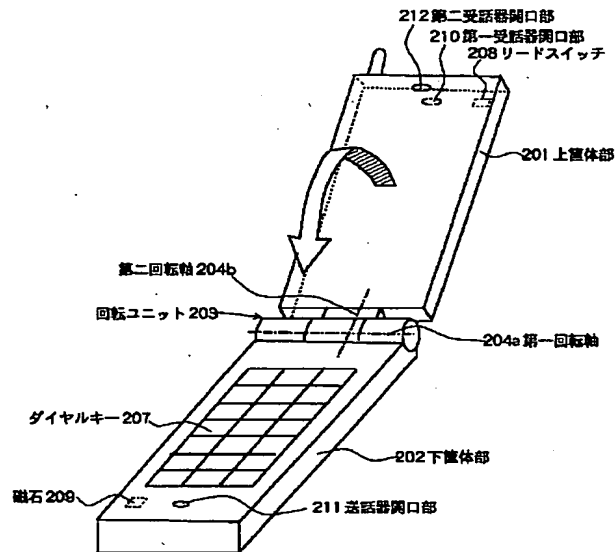
【図5】



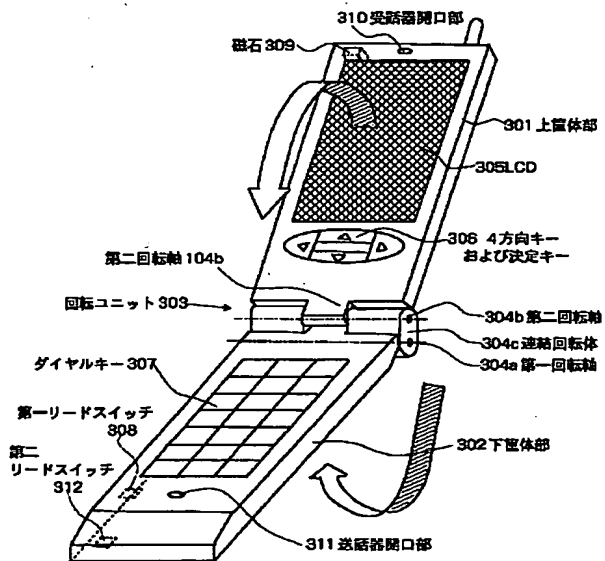
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

